



第65回

滋賀県消防大会

と き 令和2年10月3日(土)

と ころ ハーティーセンター秦荘(愛荘町)
(愛知郡愛荘町安孫子822)

主 催 滋賀県・(公財)滋賀県消防協会

協 賛 滋賀県消防協会愛知支部

◎ 2020年度全国統一防火標語 ◎

その火事を 防ぐあなたに 金メダル



愛知川びん細工手まり

ガラスびんの中に色鮮やかな手まりが入った不思議な工芸品で、丸くて(家庭円満)、中がよく(仲良く)見えることから嫁入り道具にするなど縁起物として重宝されています



金剛輪寺

国宝や重要文化財を有する金剛輪寺は、豊かな自然に囲まれた古刹で、紅葉は「血染めのもみじ」と呼ばれるほど絶景です

令和2年度 第65回 滋賀県消防大会実施要綱

1. 大会の趣旨

消防団の充実強化が喫緊の課題となっている今日、災害の防御・火災予防・消火・救急・救助等消防に与えられた任務は重く、地域住民から寄せられる期待も大きい。

消防人が一堂に会し、消防意識の高揚、団結、活性化を図り、もって県民の期待に応えようとするものである。

2. 主 催

滋賀県、公益財団法人滋賀県消防協会

3. 協 賛

滋賀県消防協会愛知支部

4. 後 援

滋賀県市長会、滋賀県町村会、公益財団法人日本消防協会

5. 期 日

令和2年10月3日（土） 午前9時30分～11時

6. 場 所

ハーティーセンター秦荘

（愛知郡愛荘町安孫子822）

電 話 0749（37）4110

7. 行 事

第1部 式 典

(1) 式典表彰

第2部 訓 練

(1) 車両行進・観閲

(2) 防火パレード

大会順序

第1部 式典

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1. 開会のことば | 滋賀県消防協会副会長 |
| 2. 国歌 | |
| 3. 消防関係殉職者に黙とう | |
| 4. 出場人員・車両報告 | 愛荘町消防団 |
| 5. 式辞 | 滋賀県知事 |
| 6. 表彰 | 知事表彰
協会長表彰 |
| 7. 祝辞 | 滋賀県議会議長
滋賀県市町長代表 |
| 8. 被表彰者謝辞 | 被表彰者代表 |
| 9. 大会宣言 | 消防職・団員代表 |
| 10. 閉会のことば | 滋賀県消防協会副会長 |

第2部 訓練

1. 車両行進・観閲
2. 防火パレード

● 大 会 役 員 ●

大会名誉会長	滋 賀 県 知 事	三日月 大 造
大 会 長	滋 賀 県 消 防 協 会 長	植 田 和 生
顧 問	滋 賀 県 議 会 議 長	細 江 正 人
〃	滋 賀 県 市 長 会 長 (東 近 江 市 長)	小 椋 正 清
〃	滋 賀 県 町 村 会 長 (豊 郷 町 長)	伊 藤 定 勉
大会副会長	滋 賀 県 消 防 協 会 副 会 長	山 仲 善 彰
〃	〃	中 村 藤 夫
〃	〃	八 代 進
〃	〃	森 良 基
〃	〃	戸 田 互
〃	〃	村 川 繁 明
大会委員長	滋 賀 県 防 災 危 機 管 理 監	嶋 寺 源 一
大会副委員長	滋 賀 県 消 防 協 会 愛 知 支 部 長	有 村 国 知
大 会 委 員	滋 賀 県 消 防 長 会	安 井 達 治
〃	滋 賀 県 消 防 協 会	各 支 部 長

宣 言

昭和23年に現在の自治体消防制度が発足して、早70数年を迎え、この間、先人のたゆまぬご努力により組織、制度、設備、機材等が整備され、近代消防への道を着実に歩んできました。

しかしながら、天災地変、火災、大事故等予期し得ない大規模な災害、更には台風や記録的な大雨により全国各地で豪雨災害が発生するなど、今まで経験したことのない様々な自然災害が、全国各地でいつ何時起こるか分かりません。

平成25年12月に施行された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」により、我々消防団の果たすべき役割はますます重要となってきました。大規模災害等の発生時には、地域の総力の結集が大事であり、消防団は、その中核として地域の安全確保のため、地域住民の信頼や期待に応えるべく、最善の努力をしなければなりません。

本日、我々消防人が一堂に会し、課せられた使命の重要性を改めて認識するとともに、更に視野を広げ過去の教訓に学んで、決意を新たに、日々訓練を重ね、あらゆる災害に対処できる崇高な消防精神を養い、安全な滋賀の実現に邁進することを宣言します。

令和2年10月3日

第65回 滋賀県消防大会

表

彰

滋賀県知事表彰

1. 機関表彰

(1) 表彰旗

愛荘町消防団

(2) 竿頭綬

近江八幡市消防団

2. 個人表彰

(1) 功労章

守山市消防団

団長 平井 壽一

東近江市消防団

団長 吉岡 新次

豊郷町消防団

団長 藤田 聡一

湖南広域消防局

消防正監 岡田 幸生

東近江行政組合消防本部

消防正監 田中 豊昭

(2) 永年勤続功労章

大津市消防団

部長 中井 秀二

部長 伊藤 善章

部長 大伴 嘉彦

部長 服部 昌隆

部長 藤田 仁

部長 東 喜彦

部長 田中 克典

部長 相井 康彰

班長 小西 元昭

班長 服部 茂樹

班長 山本 道治

団員 岡本 善幸

団員 青木 勝彦

団員 眞鍋 元雄

団員 上野 猛

団員 中山 欽夫

彦根市消防団

分団長 城野 和彦

副分団長 越川 常彦

部長 宮路 克明

部長 大久保 昭一

班長 西村 茂

団員 中村 亮

長浜市消防団

分団長 杉林 太

分団長 樋口 正隆

副分団長 中川 清太郎

部長 中山 靖雄

班長 伊吹 重英

班長 世森 裕拓

班長 辻 貴弘

班長 武田 宏樹

団員 中尾 元重

団員 島野 都洋規

団員 山口 富祐樹

団員 田仲 重人

団員 藤井 勝義

団員 高山 義生

団員 三國 勝司

団員 西嶋 利明

団員 馬場 一洋

団員	前田義徳	団員	本多賢志
団員	松井順二	団員	高木誠
団員	藤田茂樹	米原市消防団	
団員	長澤一樹	副団長	鹿取千尋
団員	上野良久	分団長	粕渕敦史
団員	竹田久登	団員	能勢康裕
団員	谷口弘二	団員	藤本博行
団員	杉江旭二	日野町消防団	
近江八幡市消防団		分団長	嶋村昌宏
副分団長	園田政生	豊郷町消防団	
部長	川嶋清貴	副分団長	上田秀久
班長	木村知明	甲良町消防団	
草津市消防団		団員	谷口良信
団員	北出直人	多賀町消防団	
守山市消防団		班長	合田誠信
副分団長	西浦克司	班長	北坂仁淳
指導班長	北脇隆行	団員	夏原哲也
団員	堀尾正明	団員	安藤哲也
団員	美濃部一郎	大津市消防局	
甲賀市消防団		消防司令補	眞鍋雅博
分団長	増田晋一	消防司令補	梶信晴
団員	桶井幸一	消防司令補	中野真章
野洲市消防団		湖南広域消防局	
副分団長	木村明	消防司令補	内田浩康
湖南市消防団		消防司令補	白井利幸
部長	今村成生	消防司令補	山倉康博
高島市消防団		消防司令補	加賀爪裕介
副団長	荒木保秀	消防士長	中村通伸
部長	橋本康弘	消防士長	清水弘順
班長	中清水寿	甲賀広域行政組合消防本部	
東近江市消防団		消防司令補	北村邦彦
副分団長	仲谷朋視	消防司令補	富田豊
副分団長	端和博	消防司令補	前田大輔
団員	川副庄悟	消防司令補	喜多俊之

消防司令補	谷 口 真 司	副分団長	武 田 英 廣
消防司令補	樋 口 淳	部 長	天 川 一 好
東近江行政組合消防本部		部 長	今 井 重 典
消防司令	武 田 光	部 長	中 橋 潤
消防司令	田 中 寿 明	部 長	藤 元 雅 浩
消防司令補	小 中 賀 智	部 長	山 極 義 之
消防司令補	山 本 直 人	部 長	明 光 卓 也
消防司令補	濱 野 純 治	部 長	山 内 淳
消防司令補	猪 田 邦 清	部 長	小 倉 正 明
消防司令補	松 島 秀 樹	部 長	増 田 好 男
消防司令補	中 澤 聡	部 長	加 藤 三 木 夫
消防司令補	和 田 望	部 長	野々山 衛
彦根市消防本部		班 長	松 井 眞
消防司令補	田 中 宏 尚	班 長	加 藤 眞
消防司令補	松 田 裕 史	班 長	西 啓 介
消防司令補	久 木 靖 夫	班 長	福 井 隆 弘
消防司令補	川 部 純	班 長	山 口 祥 宏
消防士長	村 田 宏 樹	班 長	田 中 淳 哉
消防士長	田 中 建 次	班 長	井 上 伸 一
消防士長	森 田 真 太 郎	班 長	小 島 啓 太 郎
湖北地域消防本部		団 員	川 尻 史
消防司令	中 澤 雄 大	団 員	大 藪 康
消防司令	鏑 田 昌 彦	団 員	山 本 忠 司
消防司令補	山 岡 照 幸	団 員	重 倉 誠 一
消防司令補	山 田 敬 史	団 員	近 藤 修 弘
消防司令補	堀 江 典 人	団 員	川 口 顕 一 郎
消防司令補	川 西 康 二	彦根市消防団	
消防士長	西 村 大 介	副分団長	西 沢 悟
(3) 勤続功労章		副分団長	竹 中 孝 幸
大津市消防団		副分団長	小 漆 間 靖 弘
分 団 長	志 村 知 昭	部 長	鹿 野 豪 士
分 団 長	宮 本 一 幸	班 長	武 田 智
副分団長	大 伴 浩 史	班 長	山 田 高 則
副分団長	礪 谷 有 三	班 長	宮 西 恵 美 子

班	長	西	野	稔
団	員	小	山	一
団	員	近	辻	忠
団	員	辻		博
長 浜 市 消 防 団				
副	団	杉	中	嘉
部	長	吳	竹	清
部	長	橋	本	光
班	長	宮	師	健
班	長	馬	渕	聞
班	長	篠	宮	克
班	長	川	村	
班	長	中	嶋	秀
班	長	井	上	勝
班	長	川	上	貴
班	長	中	川	将
班	長	清	水	浩
班	長	堀	井	俊
団	員	入	江	伸
団	員	丹	治	和
団	員	梅	本	弥
団	員	東	野	
団	員	山	崎	
団	員	丸	岡	重
団	員	東	野	夏
団	員	松	村	利
団	員	清	水	秀
団	員	是	洞	尚
団	員	柳	本	和
団	員	鈴	木	茂
団	員	福	井	正
団	員	宮	川	正
団	員	草	野	雅
団	員	山	口	浩

団	員	上	野	彦	史
団	員	山	根	博	行
団	員	藤	田	淳	一
団	員	竹	原	文	彦
団	員	小	杉	鉄	平
近 江 八 幡 市 消 防 団					
分	団	村	地	清	広
副	分	伴		英	成
副	分	松	山	一	矢
副	分	富	田	豊	治
部	長	松	山	崇	峰
班	長	園	田	秀	志
班	長	平	井		徹
班	長	宮	本	源	一
団	員	水		辰	也
草 津 市 消 防 団					
分	団	園	内	信	彦
副	分	児	島	健	治
守 山 市 消 防 団					
部	長	堤		純	二
班	長	今	井	克	己
栗 東 市 消 防 団					
班	長	和	田	照	秀
甲 賀 市 消 防 団					
副	団	田	村	佳	紀
副	団	南		正	裕
分	団	上	山	智	之
団	員	山	本	光	明
団	員	南		智	也
団	員	曾	山	善	直
団	員	前	川	一	友
団	員	谷	口	明	史
野 洲 市 消 防 団					
分	団	堀	江	さ	や
	長			美	

分団長	田中達男	団員	西関正弘
副分団長	鷲田忠弘	団員	獅子善治
副分団長	岡田隆	団員	小辰比呂志
班長	苗村憲司	米原市消防団	
団員	山田忠司	分団長	清水真次
湖南市消防団		班長	樋口崇治
分団長	山元博之	団員	山口正治
団員	金谷伸彦	団員	堀江雄一
団員	山本茂雄	団員	世一明文
団員	黄瀬満彦	団員	安川俊治
団員	野瀬宗彦	団員	田中孝明
団員	西岡広昌	団員	北村暢英
団員	中井孝至	日野町消防団	
高島市消防団		分団長	赤澤秀男
部長	保木彰	多賀町消防団	
班長	一井重夫	部長	鍛冶谷明芳
班長	小川太賀司	団員	大久保誠
班長	古谷和也	大津市消防局	
班長	山寄勇治	消防司令補	北澤真
団員	小谷里志	消防司令補	古川昌幸
団員	勝身善幸	消防士長	筒井俊雄
団員	黒川好造	湖南広域消防局	
団員	清水隆仁	消防司令補	松下正明
団員	瀧野昇	消防司令補	藤江尚史
団員	野崎源守	消防司令補	前田憲吾
団員	渡邊潤	消防司令補	宇野聡宏
東近江市消防団		消防司令補	稲葉敬助
副団長	中村正司	消防士長	生石直也
分団長	矢守修	甲賀広域行政組合消防本部	
分団長	岡崎裕一	消防司令補	奥村拓弥
副分団長	中井喜博	東近江行政組合消防本部	
部長	山本善洋	消防司令	高岡吉彦
班長	西村隆行	消防司令補	下村武司
団員	安村勝男	消防司令補	杉田岳志

消防司令補	満 田 智 明
消防士長	西 澤 正 義
消防士長	藤 江 友 紀
湖北地域消防本部	
消防司令補	野 洲 裕 樹
消防司令補	中 川 公 明
消防司令補	高 山 五 寛
消防司令補	五十嵐 友 和
消防司令補	前 田 和 宏
消防司令補	田 中 耕 平
消防士長	小 林 洋 喜
消防士長	下 山 彰 男
消防士長	田 中 浩 治
高 島 市 消 防 本 部	
消防司令補	小 川 良 樹

(4) 優良自衛消防隊

仰木の里学区自主防災会	(大津市)
吉身東町自主防災組織	(守山市)
社会福祉法人 信楽福祉会	
特別養護老ホーム 信楽荘	(甲賀市)
西之川原夜警	(日野町)
大藪町自主防災会	(彦根市)
サカタインクス株式会社 滋賀工場	
	(米原市)
トクデン株式会社 マキノ工場	
	(高島市)

滋賀県消防協会会長表彰

1. 機関表彰

(1) 表彰旗

草津市消防団

(2) 竿頭綬

東近江市消防団

守山市消防団

2. 個人表彰

(1) 功績章

大津市消防団

分団長 寺井 猛 雄

分団長 増田 正 博

分団長 中川 健

分団長 村田 英 幸

分団長 倉田 幸 一

分団長 西村 忠

分団長 山元 武 文

副分団長 北村 昭 雄

副分団長 竹下 好 英

彦根市消防団

分団長 吉田 惠 一

分団長 西田 保 弘

分団長 北村 元 愛

分団長 横山 信 人

長浜市消防団

分団長 福永 謙 一

分団長 木下 直 樹

分団長 大橋 久 司

副分団長 田中 康 仁

副分団長 千代鶴 忠 博

班 長 松 永 武

班 長 小室 哲 也

班 長 鹿 取 明

団 員 横 居 雅 美

団 員 田 仲 重 人

団 員 近 藤 佐 利

団 員 小 野 と き 子

団 員 中 川 秀 作

竜王町消防団

副分団長 谷 村 明 治

近江八幡市消防団

副分団長 西 津 善 樹

副分団長 一 圓 信 太 郎

副分団長 伴 英 成

副分団長 松 山 一 矢

東近江市消防団

副 団 長 廣 田 利 治

分 団 長 野 村 利 治

分 団 長 矢 守 修

分 団 長 菊 井 直 治

分 団 長 川 副 剛

副分団長 端 和 博

草津市消防団

分 団 長 田 村 康 雄

分 団 長 高 口 昌 美

守山市消防団

分 団 長 立 入 一 道

栗東市消防団

分 団 長 宮 城 源

野洲市消防団

分 団 長 田 中 達 男

甲賀市消防団

分 団 長 吉 永 政 人

分 団 長 村 木 俊 文

分 団 長 東 義 人

分 団 長 西 村 雅 之

分団長	小倉	栄
分団長	杉本	充
分団長	今村	佳弘
副分団長	村木	英仁
湖 南 市 消 防 団		
副分団長	田村	修治
副分団長	高畑	学
日 野 町 消 防 団		
団 員	山口	学
愛 荘 町 消 防 団		
部 長	森野	廣昭
豊 郷 町 消 防 団		
部 長	森	久仁彦
米 原 市 消 防 団		
分団長	酒井	茂美
分団長	池田	英俊
分団長	山本	強
副分団長	谷川	薫
副分団長	西澤	幸雄
班 長	堀	正彦
高 島 市 消 防 団		
分団長	竹田	泰治
部 長	堅田	晴幸
部 長	北村	幸一
部 長	藤戸	弘文

「愛着と誇り。人とまちが共に輝く 未来創生のまち。」愛荘



愛荘町

愛荘町は、平成18年に旧秦荘町、旧愛知川町が合併して誕生しました。琵琶湖の東部の湖東地域に位置し、鈴鹿山系からの豊かな清水と自然に恵まれ、古くから水との関わりが深いまちです。この地形が農業をはじめとするさまざまな産業を発展させてきました。

本町の主な地域資源としては、国の伝統的工芸品に指定されている「近江上布」があります。近江上布は愛知川の豊かな水と高い湿度といった自然環境などにより室町時代から発展しました。また、地方創生推進交付金等を活用し、新しい生地を開発し、地域ブランドの確立を目指して取り組みを進めています。

他にも、滋賀県伝統的工芸品に指定されている「愛知川びん細工手まり」や収穫まで3年を要する貴重な伝統野菜「秦荘のやまいも」などがあります。



～ 秦荘のやまいも ～

粘土質の土壌でおいしく育った秦荘のやまいもは、長いもなどとは全く違った、箸にひっかかるほどの強い粘りと独特の風味があり、全国的にもめずらしいやまいもです

～ 豊満神社 ～

御祭神である大国主命は、10月に出雲大社に集まる神様を取りまとめて縁結びの会議を開く「恋と美の神様」であり、また近年は女性の容姿向上にご利益があると全国各地の女性が訪れています



～ 近江上布 ～

国の伝統的工芸品に指定されている近江上布は、室町時代から発展し、また近年新ブランドの開発に取り組み Aishoasaco (アイショアサコ) や aishoasamalu (アイショアサマル) が誕生しました

～ 山比古湧水 ～

「平成の名水百選」に認定された山比古湧水は鈴鹿山系の麓、宇曾川の源流周辺に湧く清水で、古くよりお伊勢参りに行き来する旅人ののどを潤してきました

